

ふくしまパワーふあいる

地域の元気を発信

●Report

*現役学生の声

全国の薬学部生対象の横試で成績トップクラスの熊谷文哉さん(薬学部6年)に奥羽大の魅力聞いた。

「奥羽大を選んだ理由は、二本松市の自宅から通学できることが最大の理由。加えて、付属病院があり、豊富な実習を通して、より実践的な勉強ができる」と考え、奥羽大を選んだ。

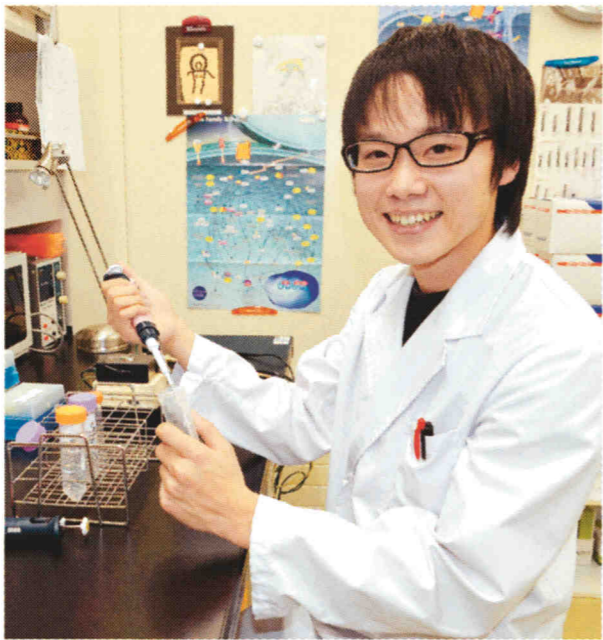
「大学の魅力は、先生と学生の距離が近く、先生にすぐに親しめる分、しっかりと教えてもらえる。衛藤学部長の研究室に所属し、じかに指導いただけるのも魅力。今年から新カリキュラムとなり、1年時からさらに先生が学生と関わるカリキュラム内容となった。その分学生

豊富な実習、直接指導も魅力

への支援もより強化されたと思う。新設された授業料免除の特待生制度も魅力だ」

「卒業後どのような道に進みたいか。」

「まずは国家試験に合格し、大学に残って教育と研究に携わりたい。付属病院の薬剤師を兼務しながら後輩を教育指導し、さらに糖尿病、脂質異常症の分野での研究をするために助手として残りたい。衛藤学部長の下で、世界で通用する研究に取り組み、奥羽大から世界に発信できる研究に携わりたい。自分に何ができるか分からないが、生まれ育ったふるさとの復興のために地域医療の分野でも力になれよう精進したい」



「ふるさとの復興のため、卒業後も精進していきたい」と抱負を述べる熊谷さん

奥羽大学(郡山市)

衛藤雅昭薬学部長に聞く

奥羽大薬学部は、東北薬科大(宮城県)、青森大薬学部(青森県)に次ぎ、東北で3番目に開設した薬学部です。卒業生の就職率は100%で、特に地元で働く、その半数以上が県内の主要総合病院、薬局などに就職し、地域医療に貢献しています。

入学者の約6割は県内出身者。自宅から通学できることで、保護者の方も安心です。6年間の学費が全国の私立薬科大で最も安く(日本私立薬科大学協会調べ)、経済的です。本学の大きな特長は、敷地

人材還元し地域医療に貢献

内には付属病院があること。病院と連携して、充実した6年制臨床教育が実践でき、地域医療に貢献する人材育成に役立てることが出来ます。特に今は、高齢化で在宅医療や

かかりつけ薬局(健康サポート薬局)の役割が重要になります。地域に根差した医療に関わる部分であり、服薬指導など患者の服薬を一元的に管理できるようにします。特に、かかりつけ薬局は国の方

4年制から6年制となったことで、薬剤師が病院に出て患者に関わり、病態や病気をより専門的に学ぶ必要性が高まってきました。市民の方にボランティアで協力いただけるような人材を育てたいと考えています。

も得て実習を行い、実習先へ就職する学生もいる点で「地域に支えられ、地域に育てられる」という地域への人材還元が大きな特徴です。また、もう一つの大きな特色は、

後は、卒業生が就職している病院や薬局から近いという本学の利点を生かし、卒業生を含めて第一線で活躍する地域の薬剤師の生涯教育の場として本学が役割を担えるようにしたいと考えています。

ミニメーション能力を磨くなど、総合的に医師、歯科医師、看護師と対等に働き合える「薬の専門家」に加え、「医療の専門家」として活躍できる人材を育てなければなりません。そこで、学生には5年生時に、病院、薬局での実習を経験してもらっています。近隣の病院や薬局の協力

新しい薬が次々に開発されることもあり、薬剤師には生涯教育が必要で、今は卒業生が就職している病院や薬局から近いという本学の利点を生かし、卒業生を含めて第一線で活躍する地域の薬剤師の生涯教育の場として本学が役割を担えるようにしたいと考えています。

高度な専門知識と技術を備えた人間豊かな人材を育成する郡山市の奥羽大は16日、創立44年目を迎える。同大は、1972(昭和47)年に東北歯科大として開学、これまで8700人を超える卒業生を輩出した。このうち薬学部は、2005(平成17)年4月に、県内で初の薬学部として開設し、今年で創立10周年。これまでの10年間で542人の卒業生を輩出し、地域医療の分野で多くの人材が活躍している。地域医療の人材育成に貢献してきた同大薬学部の特色を紹介する。



薬学部の特色や魅力、今後の展望について語る衛藤学部長

復興に貢献しようと、大学、企業、行政の産学官連携による研究・開発に取り組んでいる点です。漢方に欠かせない薬用植物の国内生産研究など実践的な研究活動を通じ、将来的な地域産業の創出を目指すため、政府が行う地方創出とも関係する取り組みです。

1年生100人余りの少人数教育も本大学の魅力です。アドバイザー制を導入し、一人一人懇切丁寧な指導が期待でき、今年度の1年生から新カリキュラムを導入。1年生から専門科目を含め基礎科学をしっかり指導できる体制を整えました。また、早期体験、演習、講義を通じて、チーム医療や地域医療、在宅医療、歯学部と連携した口腔医療を学ぶ体制もつくりました。基礎教育から始まり、6年間をかけてしっかりと教育していく方針です。

授業料免除 歯学部、薬学部の特待生制度

奥羽大は今年から、経済的な理由で大学への進学を断念する学生をなくし、保護者の経済的負担を軽減しようと授業料免除の特待生制度を導入。本年度は16人の学生が入学した(歯学部は28人)。模範生として優秀な学生を育てて学生全体のレベル向上を図り、同大の社会的役目として、より多くの優秀な医療人を地域に還元していく方針だ。

同制度は、歯学部、薬学部それぞれに30人の募集枠を設

経済的負担軽減し 大学進学を後押し

定。初年度は特待生選抜入試の成績上位者から選抜し、毎年年度末に審査はあるものの6年間授業料が免除される制度となっている。

県内の薬剤師が慢性的に不足し、震災以降、より人材不足が顕著となっている現状から、同大は「復興支援、地域への恩返し、地域医療への貢献」などの意味で、特に県内の学生に利用してほしい制度」としている。

環境が人をつくり、人が環境をつくる。



おかげさまで10周年 地域の皆さまと共に

未来はもう、はじまっている。

Innovative Future

歯学部 薬学部

奥羽大学

(お問い合わせ先 企画・広報課) 〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1 TEL:024-932-9055 FAX:024-933-7372 E-mail: info@ohu-u.ac.jp www.ohu-u.ac.jp

歯科衛生士科 歯科技工士科

奥羽大学 姉妹校 東北歯科専門学校

〒963-8015 福島県郡山市稲沼町12-18 TEL:024-932-5690 FAX:024-931-6659 E-Mail:bosyu@tohoku-ds.com www.tohoku-ds.com/

平成28年度 **特待生募集!**

授業料全額サポート

歯学部	薬学部
30名	30名

心をみがく 環境と文化を創り 歯科医師・薬剤師を 養成します。

歯学部	4,057名輩出
薬学部	542名輩出
旧文学部	4,109名輩出

※平成27年3月31日現在